

【修習生向け】弁護士の就職活動とは

気づかないうちに評価されている！？就職説明会に参加する際の事前準備と注意事項

目次

1. 説明会参加は、重要な情報収集活動
2. 説明会は、未来の職場との初めての接点
3. 就職説明会の種類
 - 司法修習生向け合同説明会
 - 個別事務所説明会
4. 参加にあたっての準備
5. まとめ

●就職説明会参加は、重要な情報収集活動

どのような業種・職種においても、自分にとって良い所属先を見つけるという活動(いわゆる就職活動)において大切なのは、情報収集です。そして、自分にとってベストな選択をすることや失敗を避けるために、適切な情報を得る有効な手段が、就職説明会への参加です。

すでにお気づきかもしれませんが、法律事務所の就職に関する情報は一般企業と比べて圧倒的に情報が少ないというのが現状です。特に、小規模の事務所になると、インターネット等で検索しても就職に関する情報をなかなか見つけることが出来ません。

故に、就職説明会への参加は希望する法律事務所の就職情報を得ることが出来る貴重な機会と言えます。

<代表的な弁護士向け就職情報サイト>

- ・ひまわり求人求職ナビ
<https://www.bengoshikai.jp/kyujin/link05.php>
- ・アットリーガル
<https://www.atlegal.jp/>
- ・Lawyer's INFO (口コミ情報)
<https://lawyers-info.com/>

雇う側・雇われる側それぞれに、さまざまな思惑や要望があります。お互いに「誰でもいい」「どこでもいい」というわけではありませんよね。

就職活動の只中においては、多少なりとも躓くこともあり、早く内定を得たいとの気持ちになりがちです。しかし本当の勝負は、実際に働きだしてからとなります。

仕事とは、作業の積み重ねと繰り返しです。緻密な事務作業が多いのか・多様な人との交渉事が多いのか

では、求められるスキルは変わってきます。またパフォーマンスを発揮できる要素も、人それぞれ違います。

あなたは、自分がどんな環境であればいきいきと実力が発揮できるのか、わかっていますか？

報酬や待遇ということももちろん重要ですが、どのような案件やクライアントが多いのか、日常の動きとしてどのような作業や業務が多いのか。毎日顔を合わせる同僚たちはどのようなタイプの人たちなのか。行動規範として大切にしていることや優先順位などが、自分の基準とあっているかどうか。これは、仕事や組織と自分自身をマッチングさせるために大事な情報です。

実際に働きだした後に「こんなはずじゃなかった…」ということがあります。提示された情報に問題があるということももちろんありますが、求職者側の事前の情報収集不足・検討不足によるミスマッチングということも多く見受けられます。どこが正解！ということではなく、「自分にとって」アリかナシか。それを判断するために様々な情報が必要となります。

ホームページや書類等、明文化されている情報ももちろん大事ですが、それではわからないこともあります。実際に所属している人から発せられるリアルな情報や、現場の雰囲気などから感じられる直観は、思いのほか本質をついているものです。

●説明会は、未来の職場との初めての接点

説明会開催の方法として、昨今はネット環境の進化や感染症予防の観点から、オンラインでの実施も増えています。リアルでの参加とは違う留意点はあるものの、どちらにも共通する“参加の心構え”がいくつかあります。

何よりも、「未来の職場との接点である」ということを忘れないでください。

説明会実施には、多くの人に関わり、様々な工程とそれにとまなう作業があります。採用側の仕事だと言えばそれまでですが、開催までのプロセスに思いを馳せ、お互いにとって有意義な時間を過ごすための配慮は、社会人として必要なことです。

説明会実施をしているとき、事務所側は、情報提供をしながら応募者の様子を観察しています。採用側が選考において大切にしているのは、応募者のスペックだけではなく、自組織とのマッチングです。「この応募者を採用することで、今の組織にポジティブな影響があるかどうか」、簡単にいうと、「働く仲間として、迎え入れてOKかどうか」を見ています。

弁護士としての就職を考える時点で、学歴や成績で評価が保証されていると思っている方もいらっしゃるようですが、必ずしもそうではありません。資格所持を必須とする専門職であれば、その部分は前提条件であり、その上に載せてくる「その人自身」を表す情報が必須となります。実際に、スペックとしては

高いものの、現在の組織の人員構成上のバランスを考えて、採用が見送られるということも、往々にしてあります。

また、「今後一緒に働く仲間として、気持ちよく過ごせる人かどうか」ということは、時間をかけて行う面接でなくても、判断できることです。

一般常識的な「時間を守る」「開催ルールに則る」「身だしなみを整えている」ということによって、仕事に向き合う姿勢が垣間見れます。説明を聞いているときのリアクションなどから、普段のコミュニケーションの様子が伺い知れます。

過度にキャラクターを作ったり演出をしたりする必要はありませんが、「見られている」という意識を忘れないようにしましょう。

●説明会の種類

説明会には、大きく分けて二つの種類があります。合同説明会と個別説明会です。それぞれの特徴と留意点をお伝えします。

◆司法修習生向け合同説明会

複数の事務所や組織が参加する説明会です。リアルで実施の場合は、会場に多数のブースが設けられて、ブース内で採用担当者が説明を行います。参加する求職者は、会場内を自由に歩き回って、興味のあるブースに入って説明を聞くといった具合です。

オンラインでの合同説明会は近年実施件数が増えています。事前に録画した動画を配信するものや、ライブ形式で情報提供をしたり、オンライン上で質疑応答やグループディスカッションを行うなど、形態も様々です。

参加のメリットとして、気軽に参加できることや、複数の組織の情報を一度に得やすく、比較検討もしやすいことがあげられます。自分の方向性が固まっていない時などは、多くの情報に触れることで、考えが整理されたり、優先順位が見えて来たりします。

<弁護士会等の就職説明会一覧>

https://www.nichibenren.or.jp/legal_info/legal_apprentice/employment.html

◆個別事務所説明会

求人をしている組織（法律事務所）が、単独で開催する説明会です。既に希望先が明確でその組織が個別説明会を実施するのであれば、積極的に参加しておきましょう。個別説明会参加が、選考上必須となっていることもあります。その組織の業務内容や就業環境など、より詳細な情報を得る事ができます。自分の

希望や方向性とのすり合わせも進み、本選考に向けて志望動機を考えることにも有効です。

●参加にあたっての準備

①自己分析・自己理解をしておく

仕事や組織が自分自身にあっているのかどうかは、就職を考えるうえで重要なことです。実際に働いてみないと分からないということもありますが、ある程度の予測は可能です。予測の方法として、自分の性格的な特徴やスキルの種類や習熟度、志向性などを把握し、採用側の情報と突き合わせていくことで、入職後に適切なキャリアを積み上げていけるかどうかの事前シミュレーションをします。

この時に、欠けている情報を収集するために、説明会に参加するのです。

しかし、そもそも自分自身のことがわかっていないと、シミュレーションにもなりません。いろいろな情報に触れていくことで明確になっていくこともあるので、完全に仕上げておく必要はありませんが、自分がどんな特徴を持っているのかということや、大体の方向性の自覚をしておきましょう。

②自分の欲しい情報（聞きたい事）を具体化しておく

自分にとって良い仕事・職場であるかどうかを判断するときに、どのような情報を得たいと思っているのかは人それぞれです。ポイントとして、「自分がここで働くことになったら、こんな毎日になるのだろうか…」とイメージができるような情報を集める必要があります。

どのような環境（通勤場所や経路、オフィス環境や仕事に使う機器、昨今ではテレワークの比率など）で日常業務を行うのでしょうか。出張や転勤などの有無は思いのほか自分への影響が大きい可能性もあります。人数規模や組織の仕組みによって仕事の進め方も違って来でしょう。フローを分担して行うということもあれば、1人の人がすべての流れを担うということもあります。その組織が得意とする分野によっては、さらなる専門知識が必要となるケースもあるでしょう。組織のポリシーによっては、扱わない領域というのもあります。所属をしている人たちのタイプによっては、同じ業界なのに、全く違う雰囲気がつくりだされていくこともあります。

本選考が始まると、なかなか確認しづらいこともあります。このようなことを考えながら、説明会参加のゴールとして、具体的にどのようなことを知りたいのか・足りない情報を得るための質問などを、リストアップしておきましょう。

●まとめ

「主体的であること」

これが、就職説明会に参加する際に必要とされる心構えです。あなたのキャリアは、あなた自身が選択を

し、作っていくものです。未来の職場であり、あなたの活躍の場となる事務所とのご縁を、説明会を通して見つけていきましょう。

◆筆者プロフィール

菊池啓子（きくちひろこ）・キャリアコーチ 国家資格キャリアコンサルタント

株式会社リクルートの営業を経て独立。「自ら選んで、とべ!」という理念のもと、自らの望む生き様を実現させたいビジネスパーソンの育成に力を注ぐ。企業研修トレーナーとして従業員 30 名ほどの中小企業から TOYOTA、オムロン、三菱地所など大手上場企業まで 50 社以上の企業研修を実施。若手から管理職まで幅広い層の育成を手掛け、年間登壇数は毎年 100 回を超える。また、アスリートのメンタルサポートや3つの大学で講師としてキャリアデザインを担当。

著書に『一週間で完成！内定獲得できる本～ストレスに負けない就活コーピング～』（祥伝社）。

公式 LINE にて「ストレス対処法」「ビジネスコミュニケーションのコツ」

「自分の望むキャリア選択のヒント」などを毎朝コンパクトに発信。

<https://lin.ee/9Zcjt1w>



参加者限定

合格祝い!

amazon ギフト券 3,000 円

キャンペーン対象：2月16日18日開催分

3ステップでもらえる

STEP 1



弁護士求人ナビ
公式 LINE への登録

STEP 2



説明会の参加
(5事務所以上)
※2日間合わせて

STEP 3



事後アンケートの
回答

オンライン修習生就職合同説明会

どこからでも
参加可能!

◆説明会の登録はこちらから

◆74期修習生専用公式 LINE



配信元：弁護士求人ナビ

運営 株式会社カイラススタイル

<https://bengoshi-kyujin-navi.com/>